



https://nijjennomori.com/godzilla\_awaji

# ゴジラ、活動停止

## ゴジラ迎撃作戦、成功

NIGOD「ゴジラ活動停止を確認」



「ゴジラ迎撃作戦」によって活動を停止したゴジラ

政府は緊急会見を開き、かねてより兵庫県淡路島海域にその存在が確認されていた巨大生命体「ゴジラ」の活動停止を確認したと発表した。

政府直属のゴジラ研究機関「NIGOD(National Awaji-Island Institute of Godzilla Disaster=国立ゴジラ淡路島研究センター)」によると9月25日、早朝より該当海域の急激な温度の上昇等の異常を確認。これを「ゴジラ出現の兆候」と判断し、ただちに政府にかねてより準備していた「ゴジラ迎撃作戦」の発動を要請。政府はこれを直ちに承認し、淡路島特別基地に待機中の自衛隊を含む「対ゴジラ特殊作戦部隊」による「ゴジラ迎撃作戦」が展開された。自衛隊機による誘導により、海底よりその姿を現したゴジラは淡路島方面へと進行方向を転換。既に避難の完了している淡路島内「誘導ルート」を進み、ニジゲンノモリ内「定着ポイント」で地中内の地雷を発破。想定通りゴジラの巨体の大半を地中に埋没させることに成功。固定されたゴジラの口腔に「対ゴジラ用活動抑制剤」を封入した特殊弾頭を投下。これにより、ゴジラの活動を停止させることに成功した。なお、ゴジラ転倒の際にゴジラ側から何らかの攻撃行動が確認されたが、これによる被害はごく軽微であると発表された。

### 政府「日も早い避難体制の解除を」

ゴジラの活動停止の確認をもって「ゴジラ迎撃作戦」は終了し、NIGODはただちにゴジラの監視体制に移行。自衛隊も引き続きゴジラの監視と並行し、現場周辺の復旧作業に入り、避難体制の解除を急ぐ方針である。また、NIGODからの発表によると、今後はゴジラのバイタルサインを24時間体制でモニターするとともに、定期的にゴジラ全身の目視による徹底した点検を随時行うことが発表された。またゴジラの末端細胞(「G細胞」と呼ばれる)の一部が分離する可能性が示唆されており、自衛隊の協力の元、飛散したG細胞の除去を行うことも併せて発表された。



NIGOD発表による本作戦の進行ルート

「NIGOD(National Awaji-Island Institute of Godzilla Disaster=国立ゴジラ淡路島研究センター)」とは、明治時代に上陸した巨大生命体「ゴジラ」に関する全ての資料の収集・保存から、「ゴジラ」の再上陸に備えた研究と、駆除を前提とした対策を目的とした旧陸軍の流れを汲む国立研究機関であり、昨年の11月の公表以降は淡路島にて自衛隊と連携した「ゴジラ迎撃作戦」の準備を行っており、本作戦で使用した「対ゴジラ用活動抑制剤」もNIGODが開発したものである。本作戦の成功によるゴジラ活動停止に伴い、同組織はゴジラの監視体制の強化と、ゴジラの生体細胞を採取し、ゴジラ並びにゴジラ特有の細胞である「G細胞」の研究を進めていく方針であることを発表した。

# 巨大という、 現実

リアル



世界初の  
実物大ゴジラアトラクション、  
淡路島に上陸。

ゴジラの体内に  
ジップラインで突入し、  
G細胞を殲滅させる  
シューティングに挑め。

リアル体感型アトラクション

# ゴジラ迎撃作戦

Godzilla Interception Operation Awaji

2020年10月10日(土)OPEN!!